

「中学生・高校生向け 原子炉実験・見学会」に参加しました

7月28日(月)に、東大阪市にある近畿大学原子力研究所で行われた関西原子力懇談会が主催する「中学生・高校生向け 原子炉実験・見学会」に本校生徒1名が参加しました。原子力研究所にある原子炉 UTR-KINKI は、国内にある原子炉の中で、実験で学生などが実際に操作することができる唯一の教育用原子炉です。商業用に使われる原子炉が1基で数十万 kW であるのに対し、UTR-KINKI はたった 1 W であり、炉心の温度が上がることもないので、臨界に達していても実験室に入ることができるほど安全な原子炉です。

原子炉に立ち入る人が必ず受けなければならない保安教育を受けたあと、原子炉を見学しました。燃料棒や制御棒、中性子測定器を間近に見て、その役割を学びました。原子炉の原理を講義で学んだのち、原子炉の運転実習を行いました。原子炉を運転するにあたって、いくつもの日々の点検によって安全が確保されていることを学びました。たった 1 W だということは頭では分かっていましたが、1つ1つの操作を行う緊張感がありました。商業用の原子炉を運転するのに、どれだけ緊張しなければならないのか想像することもできません。

福島第一原子力発電所の事故を経て、原子力に関わる若者が減っていると伺いました。これから何百年と続くはずの廃炉や放射性廃棄物の処理など、原子力関係の課題が山積みであるのに、将来を担う人材が育たないということに危機感をめぐえません。このような機会を通して、多くの若者が日本の原子力関係の力になってくれることを願ってやみません。

